

## 山田・船越灣で大はらい神事 鎮魂と復興の祝詞が響く

11月26日、山田魚市場と船越灣漁協前で「大はらい神事」が行われました。これは、海のはらい清めをして、町民が新たな気持ちで新年を迎えられるようにと、岩手県神社庁宮古下閉伊郡支部が主催したものです。神事には、鎮魂と復興の祝詞をあげるため同支部のほか県内の神道青年部や気仙支部から総勢30人の神職が集まったほか、多くの漁業関係者も参加。全員で黙禱を行った後、神職らが祝詞をあげると、市場には厳かな声が響いていました。参加者は、震災により犠牲となられた方に祈りをささげるとともに、復興を固く誓っていました。



美しい歌声のあんべ光俊さん（上写真）  
／松本哲也さんの歌に酔いれました



## あんべ光俊&松本哲也コンサート 透き通る歌声で観客を魅了

シンガーソングライターのあんべ光俊さんと松本哲也さんによる復興コンサート（山田町絆プロジェクト主催）が、12月8日に町中央公民館小ホールで開催されました。震災以来、「いわて三陸復興食堂」をプロデュースし、町に支援を行ってきた松本さんは「しあわせカモン」など4曲を披露。「山田町大好き」と話し、会場を沸かせていました。あんべ光俊さんは代表曲である「遠野物語」やCM曲で有名な「力は無限大」などを披露しました。100名を超える観客は、透き通るようなきれいな歌声に魅了され、心癒される時間を過ごしていました。

## チャリバラはことしも超満員 芸達者の演技に拍手と笑顔

12月18日、「師走の夢・チャリティバラエティショー」が町中央公民館大ホールで開かれました。震災があっても町民の皆さんにたくさん笑って元気になってほしいとの願いから山田町社会福祉協議会が主催したものです。21回目を迎えた今回も、例年と変わらず観客席は立ち見が出るほどの超満員。町内外から集まった芸達者らによる、文字通りバラエティに富んだ歌や踊り、漫才などのステージに、観客からは盛大な拍手が送られていました。同協議会が披露した寸劇「母恋しや定吉物語」では、ユーモアあふれる演技で客席を笑顔にすると、終盤では離れ離れだった母子が、「絆」と書かれたお守りに導かれ再会するという大団円で、年末恒例のイベントに花を添えました。



終始笑いが絶えなかった町社会福祉協議会の寸劇（上写真）／山田町第一保育所の園児らが元氣いっぱい虎舞を披露





今月の題字

あい  
勝山 藍さん  
(豊間根小6年)

# 町のわたい

## 豊間根の松本等<sup>ひとし</sup>さんが100歳 体いっぱい<sup>ひとし</sup>で長寿を喜ぶ

豊間根の松本等<sup>ひとし</sup>さん(明治44年生まれ)が、11月28日で満100歳の誕生日を迎えました。当日、沼崎喜一町長が松本さんの自宅を訪問し長寿を祝福。「おめでとうございます。これからも長生きしてください」と長寿祝い金を手渡しました。新聞を隅から隅まで読み、情報を得るのが日課で、特に政治面に興味があるという松本さん。現在も病气らしい病气をしたことのない松本さんは「100歳が目標だった。100歳万歳」と両手を挙げて家族とともに長寿を喜んでいました。



## 飲酒運転は絶対にダメ！ 飲酒運転撲滅を呼び掛け

宮古警察署山田交番では、12月9日に町内の酒類の提供を行っている飲食店15店を対象に、飲酒運転撲滅の呼び掛け活動を行いました。町内での飲酒運転による事故が後を絶たないことから、飲酒の機会の多くなる年末年始に向けて飲食店にも協力していただこうと12月1日から10日までの冬の交通安全県民運動に合わせて行われたものです。活動には同交番のほか、町交通安全対策運動協議会、交通指導隊、防犯隊も呼び掛けに参加。飲酒運転に対する注意喚起や、仲間内で飲むときなどに飲酒しない人を決めて仲間を家まで送り届ける「ハンドルキーパー運動」などのチラシを配布し、飲酒運転撲滅に向け協力を呼び掛けていました。

## 子供たちが考える将来の町の姿 夢の山田町プランを発表

町内の子供たちがまちづくりを考える「子どもまちづくりクラブ」が、12月10日に県立山田高校で「夢の山田町プラン」の発表会を行いました。公益社団法人セーブ・ザ・チルドレンが主催する同クラブは、これまで建築分野などの専門家を交えながら、復興に向けたまちづくりを考えてきました。子供たちは、作成した模型などを使いながら、集まった人たちに将来の町の姿を説明。どのようにしてまちづくりの考えを広めていかなど活発に意見交換が行われました。また、21日には町に対して意見書を提出し、自分たちの考えを復興計画に生かしてほしいと話していました。

